



# コロナ禍で試みたウェブ会議形式での国際会議 ～アジア・オセアニア高校生フォーラム開催に向けた取り組み～

和歌山県企画部企画政策局国際課 魚井 慎吾

## アジア・オセアニア高校生フォーラム

和歌山県は、当県の高校生がアジア・オセアニアの国・地域の高校生や県外の高校生と、世界共通の課題について意見交換やプレゼンテーションを行うことで、自ら考え、発信・行動し、グローバル社会で活躍できる人材を育成することを目的に、県教育委員会、ERIA（東アジア・アセアン経済研究センター）とともに2015年から本フォーラムを実施しています。



2019年度フォーラムの開会式

本フォーラムでは、和歌山県内外の高校生とアジア・オセアニア地域にある20の国や地域の高校生約50人が和歌山に集まり、3～4泊の合宿形式で「環境」、「食糧問題」、「津波・防災対策」などのテーマについて自らの研究内容を発表し、議論を深めます。議論の結果は、テーマごとにまとめられ、最終日の全体会において発表されます。この全体会は、毎年質疑応答が活発に行われ、大会のハイライトになっています。

また、本フォーラムでは、多くの県内高校生が参加生徒と交流できるように、ホームステイや高野山研修ツアーを盛り込んでいます。ホームステイは、和歌山の生活様式や風習を体感できるプログラムとして参加生徒に好評であるとともに、受入れ役の県内高校生にとっても、言語や文化の異なる同世代の高校生と交流できる機会として人気があります。

世界遺産・高野山への研修ツアーでは、参加生徒は、金剛峰寺国際局から高野山の歴史や建物について説明を

受け、高野山高校の生徒による案内のもと「奥の院」を散策します。ツアーが終了する時には、参加生徒が名残惜しそうに高野山高校の生徒といつまでも写真を撮るのが恒例になっています。



高野山研修ツアーの様子（2019年度）

## コロナ禍での開催方法を模索

今年度のフォーラムについては、例年通り開催すべく参加者の募集や選考などの準備をすすめていたのですが、新型コロナウイルス感染拡大により通常の開催が困難となりました。どうすべきが大変悩みましたが、代替案としてウェブ会議による開催を打診したところ、多くの生徒から「ぜひとも参加したい」という思いが寄せられ、実施を決定しました。本番当日は、当初の参加予定者の9割にあたる44人の生徒が参加しました。海外からは、通信環境が十分でないため辞退した2人を除いて、18の国と地域の生徒18人が参加しました。

ウェブ会議形式を採用するに伴い、プログラムについては以下のとおり変更しました。

### 【ウェブ開催に伴うプログラム変更点】

#### （開催期間）

当初の予定開催期間の中から3日間を指定

#### （会議時間）

日本時間の午後2時から4時とし、トルコやニュージーランドなど時差の大きい地域からの参加者もできるだけ日中に参加できるよう配慮

### 【開会式や議論の映像】

一般の方々が自宅等でリアルタイムで視聴できるよう、Microsoft Teams によるライブ配信を実施

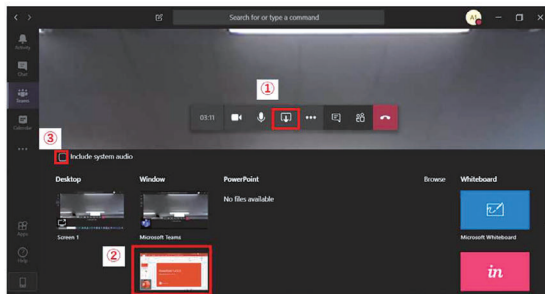
あわせて、本番時の議論が円滑に進むよう、運営スタッフは、事前に繰り返し接続テストを行い、ウェブ会議ツールの操作方法や各種機能、トラブル時の対応方法等について理解を深めたことに加え、以下の取り組みを行いました。

### 【事前準備における留意点】

- 使用するウェブ会議ツールは、全ての参加者が容易に利用できることを優先し、Microsoft Teams を選択
- 基本的な操作方法や留意点について、詳しいマニュアル（日本語・英語）を作成し参加生徒に配付
- 全ての参加生徒を対象に事前接続テストを行い、音声や映像状態を確認

#### B. Sharing the screen

When you deliver a presentation, please share your screen following the below procedures.  
You can share your screen or file via Teams. Click "Share" button in the menu bar and designate the window you want to share with others. If you open the file in advance, it can be easily shared by choosing it from window options.



During a web meeting, click the share button ① and then select the window you want to share with others. (In this example, the window of "PowerPoint" ② is to be shared). If you want to share a video, check the box "Include system audio" ③ to share its sound.

参加生徒のために作成・配付したマニュアル（英語版）の一部

### 【参加者からのコメント】

- 主催者、参加者全員のフォーラムにかける熱意が表れていた。
- プログラムがとてもうまく構成されていて、参加者にも分かりやすかった。
- 世界中の生徒が互いを知り、意見を共有する機会をつくっていただき感謝している。
- 一生に一度の素晴らしい経験だった。チャンスがあればまた参加したい。

今回のフォーラムの開催を通して、ウェブ会議形式は、①参加者が自宅や学校等の慣れた環境から参加するので議論に集中しやすい、②議論を録画できるので復習できる、③資料の共有や更新が容易である等の利点がある、といったことを学べたのは大きな収穫でした。



オンラインで学校からフォーラムに参加する県内高校生

課題として感じた点は、フォーラム初日にアイスブレイクの機会を設けるべきであったことです。開会式の後、すぐに議論に入ってしまったため、参加生徒同士が打ち解ける時間を作れませんでした。また、特に苦労した点は、マニュアルの作成です。あらゆる状況を想定した上でそのための解決策や方法を提示する必要があり、そのために何度も何度もテストを繰り返し行いました。

なお、ウェブ会議形式で行った各議題における議論の様子など、今年度のフォーラムの開催結果については、本県の HP にて公開しております。

### （フォーラム公開サイト）



<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022300/highschoolforum/top.html>

### 終わりに

和歌山県としては、グローバル社会の中で活躍できる人材の育成およびアジア・オセアニア地域の相互理解・友好親善を促進するため、今後も継続して本フォーラムを開催したいと考えています。

## フォーラムの結果と振り返り

これらの入念な準備が功を奏し、3 日間に及ぶ本番では大きなトラブルもなく実施することができました。また、コーディネーター役の英語科教員の方々の適切なサポートのおかげで、例年以上に活発な議論が行われました。また、終了後に関係者を対象に行ったアンケートで、参加生徒や教員からは、次のような好意的なコメントが寄せられました。



活発な議論を展開する参加者とコーディネーター教員